

■日本緩和医療学会 第6回関西支部学術大会 一般演題リスト 2024年9月28日(土) ピアザ淡海

会場	プログラム	座長	座長所属機関名	発表時間	No	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名
第3会場 207会議室 (2階)	一般演題①	山崎 圭一 中川 貴之	ヘルランド総合病院 和歌山県立医科大学	9:20-9:30	O-1	住本 秀哉	滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科	免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 治療開始後早期に食道潰瘍を合併した悪性中皮腫の一例
				9:30-9:40	O-2	宮城 暢子	東近江総合医療センター 緩和ケアチーム	なかなか痛みが改善しない患者へのアプローチ ～精神症状のある患者への対応として重要なことの再考～
				9:40-9:50	O-3	丹波 和奈	京都御本記念病院 緩和ケア科	小腸ストーマ造設後にオキシコドンの吸収障害が疑われた一例
				9:50-10:00	O-4	権 哲	済生会滋賀県病院 疼痛(ペインクリニック)・緩和ケア科	乳癌がんに伴う腹部の痛みを高周波熱凝固を用いた神経根ブロックが有効であった症例
				10:00-10:10	O-5	大屋 里奈	京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部	神経ブロックへのアクセスを改善するために～メール相談事業開始～
				10:15-10:25	O-6	藤田 直己	市立奈良病院 総合診療科	メサトロンを用いて疼痛緩和を図ることで治療に駆け、社会復帰ができた多発性骨髄腫の一例
	一般演題②	西本 哲郎 宮部 貴識	神戸市立医療センター-市民中央病院 国立病院機構舞鶴医療センター	10:25-10:35	O-7	西川 誠人	滋賀医科大学医学部附属病院 看護部 腫瘍センター 緩和ケアチーム	胸腔内腫瘍転移による背部のひりつきに対して、ヘパリン類似物質と白色ワセリンの塗布が有効であった1例
				10:35-10:45	O-8	松尾 佳那子	京都府立医科大学附属病院 麻酔科学教室・疼痛緩和医療部	尿管ステントの交換後に敗血症性ショックをきたした肝門部胆管癌、癌性胸膜炎の1症例
				10:45-10:55	O-9	山本 芳樹	京都御本記念病院 外科・緩和ケア科	乳癌後腫瘍転移による十二指腸狭窄に対し緩和的放射線治療が有効であった1例
				10:55-11:05	O-10	木下 多愛	京都医療センター 緩和ケア科	心不全患者の倦怠感と食欲不振に対してコルチコステロイドを使用した3症例
				11:10-11:20	O-11	岡山 幸子	宝塚市立病院 看護部	一般病棟でのデス・ケースカンファレンス実施の効果 ～非がん患者への緩和ケアチーム介入事例を通して～
				11:20-11:30	O-12	野村 嘉代	ヴォーリス記念病院 看護部 緩和ケア病棟	緩和ケア病棟においてIPDSスタッフ版を採用したが、なぜ上手に活用できていないか、を考察する
第4会場 305会議室 (3階)	一般演題③	安保 博文 坂下 明大	六甲病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター	11:30-11:40	O-13	堀 泰祐	淡海医療センター 緩和ケア内科	一般急性期病院における緩和ケアの普及・促進の取り組み
				11:40-11:50	O-14	松田 良信	市立芦屋病院 緩和ケア内科	緩和ケア領域における保険診療上の注意点
				11:00-11:10	O-15	今井 伸也	済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科	横行結腸癌により両下肢麻痺を呈した症例に最期まで理学療法士が介入した経験
				11:10-11:20	O-16	小形 孝子	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科	キーパーソンの娘の逝去を契機に認知機能の低下が顕著となった80歳代女性の心理的支援
				11:20-11:30	O-17	河野 恵	医療法人春秋会城山病院 緩和ケアチーム	精神症状が急激に悪化した乳がん患者への寄り添い
				11:30-11:40	O-18	森田 幸代	滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター	行動活性化の技法と医療スタッフとの交流を用いて、心理的苦痛が軽減された症例
	一般演題④	大武 陽一 吉岡 さおり	たけお内科クリニック 京都府立医科大学	11:40-11:50	O-19	堀居 侑子	市立大津市民病院 緩和ケア科、精神・心療内科	心理師が心の問題を扱うときに気をつけていることー緩和ケア病棟での経験を通してー
				14:25-14:35	O-20	奥田 有香	和歌山県立医科大学附属病院 麻酔科	横紋筋融解症を発症した皮膚筋炎合併上頸癌患者を在宅へ移行させた一例
				14:35-14:45	O-21	浅井 健佑	あざひ訪問診療所	緩和ケア病棟からの一時退院時に訪問診療が導入された9症例についての検討
				14:45-14:55	O-22	古賀 玲幸	医療法人春秋会 城山病院 がん治療センター緩和ケア対策室	がん患者の退院に向けた理学療法士としての関わり
				14:55-15:05	O-23	前川 佳奈	医療法人若葉会 六甲病院 緩和ケア内科	自施設の訪問リハビリテーションの導入により、患者家族の安心感と円滑な情報共有が可能となった1例
				15:05-15:15	O-24	伊藤 文	東近江市立能登川病院	急性期病院勤務医が行う癌終末期患者に対する訪問診療の検討
一般演題⑤	清水 政克 高橋 顕雅	清水メディカルクリニック 滋賀医科大学医学部附属病院	15:15-15:25	O-25	文岡 礼雅	関西医科大学附属病院 看護部	再発未告知のまま看取りとなった急性骨髄性白血病患者への支援	
			15:25-15:35	O-26	大武 陽一	水谷クリニック	重症うつ病性心不全を持つ超高齢CKD患者にバスキュラーアクセス変更を含む腎代替療法のACPを繰り返した一例	
			15:35-15:45	O-27	上川 竜生	上川ペインクリニック	在宅緩和ケアとして病状説明・意思決定支援を行った2症例	
			15:45-15:55	O-28	澤田 里子	かがやき訪問看護ステーション加美駅前	がん患者の家族が抱えるストレスに対する訪問看護師の支援についての一考察	
			15:55-16:05	O-29	岸本 拓磨	岸本産婦人科 在宅医療部門	在宅におけるオピオイド持続皮下注射による自己調整鎮痛法の課題と当院の工夫	
			16:05-16:15	O-30	高野 淳	滋賀医科大学腫瘍学講座・腫瘍内科・腫瘍センター	大学病院における希少・難治がん治療に関するがん薬物療法レジメン運用状況からの考察	
一般演題⑥	松田 良信 藤原 由佳	市立芦屋病院 神戸大学	16:15-16:25	O-31	堀 哲雄	三菱病院 呼吸器科	三菱病院のがん診療～当院における希望の切れ目のないがん総合的医療の実践～	
			16:25-16:35	O-32	青木 美和	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻	看護師のがん診療連携拠点病棟の看護師要件に関する意識 ー交流集会の事後アンケート結果よりー	
			16:35-16:45	O-33	伏木 雅人	よりよいがん医療をめざす近江の会	一納得できる人による 当会のアピアサート参加難治がん事例3例の考察 がん医療ネットワークナビゲーターの活動の一環として	
			9:20-9:30	F-1	富水 智美	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター リハビリテーション科	当院緩和病棟でのリハビリテーション科の活動状況と多職種との連携の導入により自宅退院が可能となった事例の紹介	
			9:30-9:40	F-2	西村 久美子	滋賀医科大学医学部附属病院 看護部	A限のがん診療連携拠点病院における看護師の緩和ケアの実践状況の実態	
			9:40-9:50	F-3	赤澤 昌代	社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院 看護部 消化器内科病棟	訪問看護ステーションへの継続的勉強会の実施について	
第4会場 305会議室 (3階)	フレッシュヤーズ セッション①	高野 淳 山本 源奈	滋賀医科大学 大阪大学	9:50-10:00	F-4	長野 真由	神戸大学医学部附属病院	自部署での看護師へのアドバンスケアプランニング普及
				10:00-10:10	F-5	園丸 周平	滋賀県立大学 人間看護学部	積極的治療の継続か、緩和ケア主体の生活へ移るかの選択を行う時期に、医療・ケアの選択を自身で選ばないことを望んだ患者とその家族への看護師の関わり
				10:10-10:20	F-6	藤澤 恵児	愛知医科大学病院	COVID-19に感染した原発性肺癌(ステージIV)患者の看取りの1事例
				10:20-10:30	F-7	若元 雅都	市立柏原病院	緩和ケア病棟看護師のエンゼルメイクに対する自信における研修会の効果
				10:30-10:40	F-8	西村 美弥子	済生会滋賀県病院	特別看護老人ホームでの看取りのあり方を考える
				10:40-10:50	F-9	田崎 知恵	箕面市立病院 看護局 3階東病棟	産婦人科混合病棟における終末期がん患者および非がん患者に対する看護師のターミナルケア態度とその要因との関連
	フレッシュヤーズ セッション②	市原 香織 青木 美和	淀川キリスト教病院 大阪大学	10:50-11:00	F-10	前原 なおみ	四天王寺大学 看護学部看護学科	看取りケアにおける看護師の教育的支援に関する文献レビュー～2018年から2023年のデスカンファレンスの文献を用いて～
				13:45-13:55	F-11	武村 昌俊	滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部	乳がん患者における難治性疼痛に対してメサトロン塩酸塩錠を安全かつ効果的に導入できた1例
				13:55-14:05	F-12	本多 紀子	社会福祉法人大阪明徳館 大阪明徳病院 看護部	緩和ケア病棟入院患者における急性化膿性耳下腺炎に対し口腔ケアが有用であった一例
				14:05-14:15	F-13	近藤裕文	おおまほホームケアクリニック	在宅医療でメサトロンを導入することで在宅看取りの質を向上できたと考えられる5例
				14:15-14:25	F-14	松田 唯	株式会社薬國堂 志都美薬局	特殊型PCAポンプのプログラム投与による夜間鎮静を行った在宅緩和ケア症例の報告
				14:50-15:00	P-1	安積 文	ピースホームケアクリニック京都	在宅医療における緩和的鎮痛の倫理的検討における情報通信技術 (Information and Communication Technology: ICT) ツールの有用性
第3会場 207会議室 (2階)	優秀演題①	荒尾 晴恵	大阪大学大学院医学系研究科	15:00-15:10	P-2	高尾 鮎美	大阪公立大学大学院 看護学研究科	三次救急医療施設の初療室で看取りを迎える患者の家族に対する看護：質的研究
				15:10-15:20	P-3	江藤 美和子	社会医療法人生長会 ヘルランド総合病院 外来	外来におけるIPDSスクリーニングの実態と課題
				15:20-15:30	P-4	藤本 実希	Cicely Saunders Institute of Palliative Care, Policy & Rehabilitation Florence Nightingale Faculty of Nursing, Midwifery & Palliative Care, King's College London	地域に暮らすフレイル高齢者のアドバンス・ケア・プランニングのレディネス：システマティックレビュー
				15:30-15:40	P-5	西尾 敦美	大阪大学医学部附属病院 緩和医療センター	咽頭摘出を提案された頭頸部がん患者の不安や困難への介入 ー入院前外来での関わりー
				15:45-15:55	P-6	多方 美彩	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 薬剤部	当院における非がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの使用状況について
				15:55-16:05	P-7	井上 稔也	いのうえ在宅診療所	進行胃癌・膀胱浸潤による出血性貧血に対して、在宅での赤血球輸血と放射線照射が有効であった1例
	優秀演題②	所 昭宏	近畿中央呼吸器センター	16:05-16:15	P-8	寺本 晃治	滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科	新型コロナウイルス感染症の流行の前におけるがん患者の療養先の変化について
				16:15-16:25	P-9	宮部 貴識	国立病院機構舞鶴医療センター 薬剤部	高齢がん患者ポリファーマシー早期介入にむけた現状調査
				16:25-16:35	P-10	林 一喜	淡海医療センター 呼吸器外科	原発性肺がん終末期の予後予測におけるPNI (Prognostic Nutritional Index)の有用性について